

平成22年度第1期女性のための教養講座～女性大学～ 社会とつながり、心豊かに 開催結果の概要

月 日	演 題	講 師
5/25 (火)	統計からみる女性と男性の生き方・働き方	北海学園大学経済学部地域経済学科准教授 水野谷武志
6/1 (火)	歩くしくみについて —神経の働きから眺める—	札幌医科大学保健医療学部作業療法学科教授 松山清治
6/8 (火)	日本語の不思議 —文字・表記法を中心に—	藤女子大学文学部日本語日本文学科教授 漆崎正人
6/15 (火)	地下鉄と日本国憲法	北星学園大学経済学部経済法学科教授 齊藤正彰
6/22 (火)	池澤夏樹・佐々木譲の女性小説	北海道武蔵女子短期大学教養学科教授 中澤千磨夫
7/6 (火)	格差社会をどうする？どう生きる？	札幌学院大学法学部法律学科教授 家田愛子
7/13 (火)	古代ローマ帝国の遺産	北海道立近代美術館学芸員 石尾乃里子
7/20 (火)	地域が元気になる物の見方	札幌大学経営学部経営学科教授 佐藤郁夫
7/27 (火)	夫婦・家族のコミュニケーション ～伝えるスキル・聴くスキル～	こころとそだちの相談室みなみな 西村淑恵
8/3 (火)	現在（いま）を知る ～最近のニュースから～	北海道新聞社論説委員 山本卓



平成22年5月25日（火）

統計からみる女性と男性の生き方・働き方

北海学園大学経済学部地域経済学科准教授 水野谷武志

男性と女性とでは時間の使い方にどのような違いがあるのでしょうか。講義では、まず統計とは何かについて説明していただいた後、社会生活基本調査を具体的な素材とし、生活時間に注目しながら、統計でみる女性と男性の生き方・働き方についてお話いただきました。また、生活時間からみた男女共同参画社会への課題についてもお話いただきました。

平成22年6月1日（火）

歩くしくみについて—神経の働きから眺める—

札幌医科大学保健医療学部作業療法学科教授 松山清治

私たちのもっとも基本的な運動のひとつであり、普段は何ら気にすることもなく当たり前に行っている「歩行」。しかし歩行の起こるしくみは巧みです。講義では、まず歩行運動の特徴や神経系の成り立ちについて説明をいただいた後、歩行のしくみについて脊髄や脳幹、大脳基底核、大脳皮質など歩行に関わる神経系の働きからお話いただきました。



平成22年6月8日（火）



日本語の不思議—文字・表記法を中心に—

藤女子大学文学部日本語日本文学科教授 漆崎正人

なぜ日本語では、漢字、ひらがな、かたかなの三種類も文字が併用されているのでしょうか。講義では、まず文字とはどういうものかについて説明いただいた後、漢字の伝来、万葉がな、ひらがな、かたかなの成立など、それぞれの文字の起こりについてお話いただきました。また、濁点はなぜかなの右肩に付けるのかなど、表記法についても説明いただきました。

平成22年6月15日（火）

地下鉄と日本国憲法

北星学園大学経済学部経済法学科教授 齊藤正彰

最高裁まで争われた地下鉄の車内放送をめぐる訴訟。そこには憲法が保障する人権についての重要な問題が含まれていました。講義では、判決文を読み解きながら、損害賠償（不法行為、債務不履行）について説明いただくとともに、時代とともに人権規定の意味が広がってきたこと、また、「人間の権利（理念的権利）」と「憲法上の権利（法的権利）」などについてお話いただきました。



平成22年6月22日（火）

池澤夏樹・佐々木譲の女性小説

北海道武蔵女子短期大学教養学科教授 中澤千磨夫

北海道を拠点に活躍する芥川賞の池澤夏樹と直木賞の佐々木譲。講義では、二人の略年譜を追った後、実験的な手法を駆使した池澤の『真昼のプリニウス』、直線的に話が進行する佐々木の『犬どもの栄光』というタイプの異なる2つの小説を取り上げ、それぞれの女性主人公が持つ「好奇心」に注目しながら、2つの異なった女性小説についてお話いただきました。



平成22年7月6日（火）

格差社会をどうする？どう生きる？

札幌学院大学法学部法律学科教授 家田愛子

働く人の所得格差が広がり、正社員はどんどん減らされています。頑張っても「勝ち組」になれる保証はありません。このような時代をどうやって生きぬけばよいのでしょうか。講義では、雇用形態や賃金、若年無業者数の推移など、格差社会の実態を統計資料や新聞記事を用いながら説明いただきました。そして、格差社会の中で生き残るには家族の役割を捉えなおすことが大事になるとのお話をいただきました。



平成22年7月13日（火）



古代ローマ帝国の遺産

北海道立近代美術館学芸員 石尾乃里子

300年の長きにわたり、ヨーロッパのほぼ全域で比類なき栄華を誇った古代ローマ帝国。北海道立近代美術館の講堂にて、特別展「古代ローマ帝国の遺産」について、作品等に関してのお話をいただきました。また、講義後は各自にて特別展を自由観覧。イタリア各地のコレクションから選りすぐった彫刻、工芸品、壁画など、「史上最強の国家」と称される古代ローマ帝国の栄光を伝える遺産の数々をお楽しみいただきました。

平成22年7月20日（火）

地域が元気になる物の見方

札幌大学経営学部経営学科教授 佐藤郁夫

私達が住む街を元気にするには何をすべきでしょうか。講義では、時代に合わなくなってきた日常生活の中の慣れも、人と会話をすることで新たな発見へとつながり、そこから元気になる発想が生まれてくることがある。また、何か手を加えることでより魅力的になることもある。これまでの価値観を新しい価値観で見えていくことが、地域の活性化につながるのお話をいただきました。



平成22年7月27日（火）

夫婦・家族のコミュニケーション～伝えるスキル・聴くスキル～

こころとそだちの相談室みなみな 西村淑恵



夫婦や家族の話、聴いているようで聴いていない、伝えたのに伝わっていないこともあるかもしれません。講義では、男女間にはコミュニケーションに違いが出ること、重要な他者との噛み合わないコミュニケーションは心に孤独感や無力感を抱え込むことにつながることで、だからこそ、不安も心配もきちんと伝え、聴き、しっかりと分かり合う努力が必要とお話をいただきました。

平成22年8月3日（火）

現在（いま）を知る～最近のニュースから～

北海道新聞社論説委員 山本卓

過去を知らなければ現在を知ることはできません。そして現在が見えてくると、それは未来へとつながっていきます。講義では、貧困、派遣労働、低賃金など暗い話の多い日本の現況に触れながら、日本の現在をよく知ったうえで近未来を考えたい、また、現在を知る方法として新聞、テレビ、インターネット等があるが、それらに簡単に答えを求めるのではなく、借り物の知識や判断に頼らず、自分で考えることこそ大切であるとお話いただきました。

